



第1回アジア動物看護国際カンファレンス参加報告

1st Asian Veterinary Nursing Conference



日程：2026年3月29日～31日
開催地：マレーシア（クアラルンプール）

第1回アジア動物看護国際カンファレンス概要



■ 目的

動物の健康と福祉の向上における動物看護師の
役割の重要性を強調すること・動物看護師の専門性の向上

■ 形式

基調講演/講義/ショートコミュニケーション/
ポスタープレゼンテーション/ワークショップ

■ 参加者

動物看護師（日本の愛玩動物看護師を含む）、獣医師、
その他獣医療技術者、各国動物看護協会、
各国教育・学会関係者、政府関係者等

■ 参加国・地域

日本/マレーシア/香港/オーストラリア/シンガポール/
タイ/韓国/台湾/インドネシア/フィリピン/スリランカ/インド/ナイジェリア/イギリス/アメリカ/ドバイ

■ 主催

マレーシア動物看護師協会（MAVNA）

■ 分野

動物看護臨床技術/看護学教育/各国の制度/
ソフトスキル（目的・情熱・生き方・キャリア形成）

■ 参加人数

初日約440名以上（ブース展示者除く）

■ プログラム

<3月30日>

- ・基調講演 「Turning Passion into Purpose: Finding Meaningfulness in Your Career」 by Mr. Yagi
「Path to the Future: Challenges & Successes in **the UK & Australia**」
- ・講義 「Six Safety Myths Many Vet Nurses Believe」
「Many Countries, One Shared Role: Veterinary Nursing Across **Asia**」
「The Status of National Recognition for Para-Veterinary in the **Philippines**」
「The Essence of Veterinary Nursing: Lessons Learned from over Two Decades in **Japan**」 by Dr. Murao , Mr.Niiya
「Veterinary Technicians and Veterinary Nursing in **Thailand**」 ほか

<3月31日>

- ・基調講演 「INTERPROFESSIONAL WORKING – IS IT JUST A DREAM?」
- ・講義 「Grief Care in Veterinary Medicine Handled by Veterinary Nurses」 by Dr. Abe ほか



各国の動物看護の制度等の比較（担当調べ）

国	資格名称等	国家資格制度の有無 (国家試験の有無)	対象動物規定	職能団体	法制度（業務独占、名称独占等）
日本	愛玩動物看護師 (Veterinary Nurses for Companion Animals)	あり (国家試験あり)	犬、猫、愛玩鳥	日本愛玩動物看護師会 Japan Veterinary Nurses Association (JVNA)	愛玩動物看護師法において、業務内容、国家試験及び免許登録について規定されている。業務独占あり。名称独占あり。
マレーシア	なし	なし	なし (犬、猫、Zoo、Petting Zoo 、リヤマ等)	Malaysian Association of Veterinary Nurses and Assistants(MAVNA)	MAVNAが中心となって制度化推進中。 アジア共通のレギュレーション整備を目指す。
シンガポール	なし 候補：Veterinary Nurse	なし	犬、猫、豚	Singapore Veterinary Association(SVA=獣医師会)の中 の、Veterinary Nurses and Technicians Chapter	Diploma in Veterinary Technology（3年）が1校のみ。 免許・規制の枠組みを作成中。
韓国	動物保健師（동물보건사）	あり (国家試験あり)	動物病院に来院する動物種、 主に伴侶動物（犬・猫等）	Korean Association of Veterinary Nurses (KVNA)	韓国の法律の名前：獣医法 獣医師の指導（監督）の下、動物病院内で動物の看護・診療 の補助が行える。 受験には認証の養成機関を卒業する必要がある。 継続研修制度が実施されている。
タイ	Veterinary Nurse Veterinary Technician Veterinary Assistant	なし	規定はないが経験値によって 範囲が変わるか	なし	タイ獣医師評議会（Veterinary Council of Thailand）が 2020年に獣医師の専門業務を支援する者の役割および職務 の定義などを制定し、補助者の役割や教育要件を整理。 「獣医師補助者（Veterinary Paraprofessional）」の法的 地位や役割を明確化し、獣医師の監督下で特定の業務を行う ための法的枠組み。
インドネシア	Veterinary Paramedician , Veterinary Paraprofessional (2019～)	なし	不明	Perkumpulan Paramedik Veteriner Indonesia (PAVETI)	免許制度がないため制度創設を検討中（約2年を想定）。 外国の動物看護師がインドネシアで働けるようにしたい。
フィリピン	Veterinary Nurse, Veterinary Technologist, Veterinary Assistant 等、 学位によって変えている	なし	不明	なし	Veterinary Technologyの専門職化・規制を目指す法案が 2026年2月に提出されたばかり。
イギリス	Veterinary Nurse	あり (国家試験なし)	any animal	英国動物看護師協会 British Veterinary Nursing Association (BVNA)	王立獣医師会が認定した教育機関にて職業訓練修了又は学位 取得後に、Royal College of Veterinary Surgeons (RCVS) に登録する。独占業務あり。資格維持のためにCPD制度あり。 CPD制度（Continuing Professional Development）：継続的専 門能力開発
オーストラリア	Veterinary Nurse (Certificate IV in) Veterinary Technologist (Bachelor)	あり (国家試験なし)	Animal Patient	オーストラリア動物看護師評議会 Veterinary Nurses Council of Australia (VNCA)	国が認定する機関が策定したカリキュラムを行う機関を州政府 が認定。職業訓練修了後、州政府が資格証明書を発行。 オーストラリア動物看護師登録制度（AVNAT Registration Scheme）に登録することで得ることができる（州ごとの制 度）。州によってはCPD制度義務あり。

※担当による聞き取りを基に作成したため、不確定な要素が含まれます。

■ 日本の制度の特徴

- 国家資格化・法制度整備
- 業務内容明文化
(獣医師の指示下での診療補助業務・愛護適正飼養指導等)
- 業務独占および名称独占のある資格
- 国家試験制度・登録制度の確立
- 対象動物が明確 (犬・猫・愛玩鳥)
- 養成学校の指定制度や養成課程 (カリキュラム等) が規定されている

■ 他国の状況

- 国家資格化されていない国が多い
- 資格制度があっても登録制度がない
- 業務内容が曖昧
- 制度整備途上の国が多い

■ 共通の課題

- 処遇改善 (給与・福利厚生等)
- 社会的認知・やりがいの向上
- 獣医師との関係性 (連携・役割)

■ 国際的関心・日本の役割

- 制度化を目指す各国から、日本の法制度設計やプロセスに対する関心が高い
- 教育・試験・免許登録・法制度といった一連の仕組みに注目が集まっている

➡日本の愛玩動物看護師制度は**モデルケース (手本)** や**参考**として期待されている

■ 共通課題を踏まえた制度の運用も必要

- 制度運用においてもその視点を意識していくことが重要

【今後の見込まれる動向・役割】

- 今回の国際学会の開催等、アジア圏での動物看護に対する関心の高まりを確認
 - ➡今後 国際連携・情報共有の重要性の高まり
 - ➡継続的な情報収集および日本からの情報発信の必要性
- 連携において日本も存在感を示しつつ、他国の制度も参考により良い制度運用を目指す
- 動物愛護・適正飼養分野の発信も重要